－ 受賞者の声 －

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| グランプリ |  | 修成建設専門学校 |
| この度は、グランプリという賞をいただき、大変光栄に思います。  今回のコンクールには、自分の設計力がどこまでできるのか挑戦したいという気持ちで参加しました。単に建物を設計するだけでなく、人と人をつなげる公共空間について深く考える機会となりました。設計中は 何度も試行錯誤を繰り返し、変更を重ねることがありましたが、その中で本当に多くのことを学びました 。学校の先生方や仲間たちにも、多くの支えや励ましをいただきました。心からお礼を申し上げます。  私は小さい頃から日本の建築や街並みが大好きで、建築設計が自分の趣味になりました。日本の建築士になりたいという夢を持って日本に留学し、空いた時間には、ずっと建築設計の練習を続けてきました。グランプリを受賞したことを電話で聞いたとき、本当に驚きと喜びでいっぱいでした。  今後も日本の公共建築や都市計画に貢献できるような仕事をしていきたいと考えています。これからも自分のスキルを磨き、 快適で魅力ある建築を作り続けていきます。  最後に、 私の作品を評価してくださった審査員の皆さま、そしてコンクールの全ての方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 準グランプリ |  | 大阪府立都島工業高等学校 |
| 今回のコンクールは私の高校生活において最後のコンクールであり、私にとってはとても印象深いものでした。その上このような賞をいただいたことは非常に嬉しく思います。  この設計において集会所について考察した時、集会所の持つ目的とは何かという点に辿り着きました。集会所はコミュニティと集まりに使うものですが、人と人の繋がりを考えた時にイベントのみが目的だと敷居が高いように感じました。この繋がることとは相手を知ることです。なので目的を知ることになることを目指しました。  今回の設計にて建築への解釈が少しだけ深くなったと思います。しかしながら未熟さがより浮き出ました。成長も感じつつ、またこれから目指すべきこともくっきりとなりました。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 優秀作品賞 |  | 大阪府立工芸高等学校 |
| この受賞は、私にとって初めての受賞でした。  高校三年間の集大成として意気込んで取り組んだ作品だったのでアイデアを出すことが楽しく、鉛筆を持つ手が止まらない程制作に夢中になりました。  そうして完成させた作品が評価されたことがとても誇らしく、大きな喜びを感じています。  自信にもつながり、卒業を迎える今でももっと製図を学びたいという思いがあふれています。  このような貴重な機会をいただけたことに感謝し、これからの専門学校での学びにもこの経験を活かしていきたいです。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 優秀作品賞 |  | 日本理工情報専門学校 |
| この度は、「優秀作品賞」という大変光栄な賞をいただきまして誠にありがとうございます。  まさかこのような賞をいただけるとは思っていなかったので、私自身とても驚きました。  この作品は、住民の方々や地域の方々にとって居心地の良い場所になってほしいと願いを込めて設計いたしました。  私の作品を評価してくださった関係者の皆様、誠にありがとうございます。  今後もこの経験を活かし、さらに知識を深めていきたいと思います。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 佳作 |  | 堺市立堺高等学校（定時制） |
| この度は、佳作賞をいただくことができて、とても嬉しいです。誠にありがとうございます。  作品の制作過程では、いろいろ迷うことも多かったので、設計の難しさを感じました。  反省点を糧に今後、より良い作品制作ができるよう励みたいと思います。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 佳作 |  | 大阪公立大学工業高等専門学校 |
| この度はこのような名誉ある賞をいただけたことを光栄に思うと同時に、ご指導を下さった先生方に御礼申し上げます。  本年度の課題は昨年度よりも規模が大きく、さらに団地に関する知識があまりなかったため、まず団地の背景や文化を調べることから始めました。調査を進める中で、団地には戸建てやマンションとは異なる魅力があることを実感し、特に羽倉崎住宅は60年の歴史を持ち、ちょうど節目の時期を迎えていることを強く感じました。戸建てやマンションとは違い、独自の活動や集まりを通して形成されたコミュニティの上でそれぞれの生活が成り立っており、未来の団地や集会所のあり方について考えを深める有意義な時間を過ごせました。  また一方で、本年度のコンクールは昨年度の受賞を経て、この１年間の成長を試す場でもありました。そのため、本賞にとどまったことは非常に悔しく、自分自身の力不足を痛感することもありました。  来年度からは大学に編入するため、本コンクールには出場できませんが、今回の経験を糧に、これからも自分なりに精進して参りたいと思います。  最後に、栄誉に値すると評価してくださった審査員の皆さま、ご指導いただいた本学教員の鯵坂先生・福山先生に、改めて深く御礼申し上げます。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 佳作 |  | 大阪工業技術専門学校 |
| この度は、たくさんの作品の中から、佳作という光栄な賞をいただきありがとうございます。  学生生活最後のコンペというのもあり、大変思い出深い作品となりました。  今回のコンクールを通して、新たに学んだこともあり、取り組んで良かったと思います。  最後になりましたが、本コンクールの審査委員の方をはじめ、関係者の方々へ深く礼申し上げます。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 奨励賞 |  | 大阪府立工芸高等学校 |
| お題をテレビにしたのは作品制作に取り掛かる時にインフルにかかり、久しぶりにテレビを見た時にテレビの面白さに気づき、テーマをテレビにしました。  集会所は沢山の人でテレビを楽しめるよう大きくとり、ガラス張りにして中の雰囲気を感じやすくしました。  私は図面に考えをおこすのが苦手なので、インフォグラフィックを沢山書いて補いました。  奨励賞に選んでいただけて頑張って良かったと思いました。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 奨励賞 |  | 大阪府立都島工業高等学校 |
| 初コンペで分からない事も沢山あったけれど色々考えて作り上げたので結果に結びついて嬉しいです。  一年間の勉強の成果が何かしら形になればいいなと考えていたのでその機会をいただけて良かったです。  授賞式・プレゼンテーションを終えて、審査委員の方々から評価のほか自分の作品へのより良い工夫、改善点を教えていただきとても参考になりました。将来住宅設計に関係する職に就きたいと考えており、今回の集会所の設計が今後の建築人生で役に立つと考えます。  貴重な経験をありがとうございました。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 奨励賞 |  | 修成建設専門学校 |
| 初コンペで分からないことが沢山あったけれど色々考えて作り上げたので結果が伴ってとても嬉しい。  1年間の勉強の成果が何かしら形になればいいといいなと考えていたのでその機会をいただけて良かったです。 | | |